

労働法制中央連絡会主催



第6回 私たちの労働政策を考える会 ジョブ型人事（職務給） を考える

講演：桜美林大学
藤田実 教授

政府は、「三位一体の労働市場改革」の中心に、「失業なき労働移動の円滑化」をすえ、「雇用流動化によって、構造的な賃上げを実現する」などと主張しています。そのため、リスキリングとセットにした転職の支援、副業・兼業の促進、解雇しやすい限定社員・ジョブ型雇用の普及、さらには解雇の金銭解決制度の創設をはかろうとしています。

今回は政府・財界が進めようとしている「ジョブ型」とは何か。特に日本のジョブ型人事・ジョブ型雇用はどういうものか。そしてこれから導入されようとしている労組はどう対応したらいいのか、すでに導入されている職場はどのようなたたかひになるのか。賃金の面でのジョブ型の問題点、政府はなぜジョブ型人事を進めるのかを学習します。

2025年1月14日（火）18:30～20:15

参加対象：中連構成団体の方、全労連加盟組織の組合員

スケジュール

18:30-	司会・開会あいさつ 主催挨拶
18:35-19:35	講演
19:35-20:10	質疑応答・意見交流
20:10-20:15	まとめ・次回案内

完全オンライン こちらから事前にご登録下さい

第6回登録用URL <https://forms.gle/DTYJ5hFMKrat1jMq7>



問合せ先：全労連事務局（政策グループ 労働法制担当）

TEL 03-5842-5611

私たちの労働政策を考える会（趣旨）



「新しい資本主義」「フェーズIIの働き方改革」「全世代型社会保障改革」のもと、政府は労働法制と社会保障制度を、一体的に変質・解体させようとしています。政府・経済界が進める政策に対し、私たちはどのような対抗軸を掲げるか。政策の体系的な検討が求められています。

そこで、課題に精通した学識者の見解を学び、現場の状況をふまえながら、あるべき労働政策・社会政策を構想する研究会を開催します。

1 2023.4.11 あるべき職業教育訓練 大重光太郎さん (獨協大教授) 産業構造の変化と「DX」/政府の「労働市場円滑化」政策やリスキングをどう見るか/公的職業訓練etc.	2 2023.6.19 失業時の生活保障 後藤道夫さん (都留文科大学名誉教授) 雇用保険のカバー率の低さ/社会保険適用拡大の課題/失業手当/求職者支援制度/生活保護etc.	3-1 2023.8.24 短時間労働者と社会保険・税 竹下武さん (全労連事務局次長) 全世代型社会保障法案/「年収の壁」とは/個人の自立をささえる賃金・税・社会保障制度etc.	3-2 2023.9.11 短時間労働者と社会保険・税 清山玲さん (茨城大学教授) 経済分野のジェンダー平等推進と「年収の壁」/税・社会保険制度の「労働指向政策パッケージ」への転換/etc.
4 2024.1.18 労働時間法制 高橋寛さん (自由法曹団事務局次長) 労働時間の原則/変形労働時間・フレックス・裁量労働・高度プロフェSSIONAL制度/一日7時間・週35時間労働の実現/年休/育児休暇・介護休暇の拡充etc.	5 2024.3.26 雇用保障と解雇・雇止め規制 中村和雄さん (自由法曹団労働問題委員会委員長) 解雇に対する法規制/解雇規制批判の問題点/「解雇の金銭解決」の問題点/実効性ある解雇・雇止め規制とは	6 2025.1.14 ジョブ型人事(職務給)を考える 藤田実さん (桜美林大学教授) ジョブと賃金の関係性/成果主義/労組の対応/昇格降格/労働移動/日本版ジョブ型とはetc.	7 2025. 労働者代表(過半数代表者) 調整中 労基研も議論されている過半数代表の機能強化/選出方法/代表の任務/使用者側の情報提供/複数制/任期制/支配介入etc.

各回ごとに参加登録をお願いします。
参加登録フォームは開催日が確定しましたらお知らせします。

